

2022年度 日本山羊研究会 課題解決型研究の公募について

日本山羊研究会会長

2022年度日本山羊研究会（全国山羊ネットワーク研究部会）の課題解決型研究（単年度）の公募を、つぎのとおり決定しました。

つきましては、公募要領を参照の上、2022年6月30日までに、『2022年度 課題解決型研究実施申請書』（別紙1）を日本山羊研究会事務局に提出ください。

【 公募要領 】

1 公募対象

公募対象は、全国山羊サミット分科会、情報交換会等で収集された山羊にかかわる課題の解決に向けて行われる調査および研究とします。2022年度の公募については『2022年度公募対象の調査および研究テーマ』（別紙2）をご参照ください。

2 応募資格

全国山羊ネットワーク会員であり、公募対象の調査または研究を遂行できる手法、手段を保有する人、団体であれば研究者如何を問いません。

3 研究実施期間

研究実施期間は、単年度で原則として2022年7月10日～2023年2月28日とします。ただし、やむを得ぬ事情により研究の継続が必要な場合には、日本山羊研究会事務局に申し出を行い、継続の判断を仰ぐこととします。

4 研究費および交付

研究費として、課題1件当たり上限20万円（消費税込）とします。なお、当該研究費に間接経費は含みません。研究費は、研究実施報告書等の提出（下記9参照）に基づく確定払い（立替払い）とし、研究者等の指定する口座に振り込みます。

5 応募方法

別紙『2022年度 課題解決型研究実施申請書』に必要事項を記入の上、日本山羊研究会事務局（kakihara_h@naro.affrc.go.jp）まで提出してください。申請者1名あるいは1団体につき応募出来る調査または研究は1件に限ります。

6 応募期間

2022年6月4日（水）～同年6月30日（木）

7 選考方法

提出された研究実施申請書は、全国山羊ネットワーク世話人会および日本山羊研究会事務局で内容を審査し、各テーマについて予算の範囲内で採否を決定します。なお、世話人会等からの意見を反映するように実施計画の修正をお願いすることもあります。

8 選考結果

選考結果は、2022年7月7日に研究代表者のメールアドレスに通知します。

9 研究実施報告書等の提出

研究終了後、研究者等は、研究実施報告書（A4 サイズ、横書き、自由様式）、領収書および収支報告書を研究期間終了日までに提出して頂きます。

10 研究成果の公表

本研究費による研究成果は、日本山羊研究会等での発表を原則とします。

11 個人情報の取り扱い

本研究の申請に係る個人情報は、本研究業務の目的以外には一切使用しません。

別紙1 2022年度 課題解決型研究実施申請書

(年 月 日)

課題名		担当代表者（所属、メールアドレス）：	
研究目的（別紙2の背景と目的を参考に記述ください）			
研究内容（別紙2の具体的内容を参考に記述ください）			
研究予算（大まかな費目ごとに記述ください）			
以下は記入しないこと			
研究評価（研究内容評価者名）			
重要性（1～3）：	緊急性（1～3）：	妥当性（1～3）：	
その理由	その理由	その理由	
その他（研究に希望する意見）			

各点数 1 低い, 2 普通, 3 高い

別紙 2 【 2022 年度公募対象の調査および研究テーマ 】

① 山羊の生産ステージ別乾物摂取量の実態調査

【 背景と目的 】 現在、全国山羊ネットワーク研究部会において「山羊飼料計算プログラム」の作成が進められている。本プログラムによる飼料計算の精度を向上するためには、飼養下の実態に近い乾物摂取量が必要であるが、データの収集が不十分である。そのため、飼養下の実態を反映したヤギの乾物摂取量を明らかにすることを目的とした調査および研究を公募する。

【 具体的内容 】 ヤギ品種（乳用種、肉用種、小型種）別の育成期から成熟期の乾物摂取量、泌乳ヤギにおける乳量水準別の乾物摂取量、肥育ヤギの増体ごとの乾物摂取量について調査する。ヤギの飼養条件として、粗飼料給与割合 50%以上、飼料全体の CP（粗タンパク質）含量 12%以上、TDN（可消化養分総量）充足率 100%前後で、複数日（例えば、3 日間）連続調査（最低 1 カ月 1 回）とし、給与飼料の乾物含量、給与量、体重を合わせて調査する。

② 放牧地における野草種の化学的組成と消化率の推定

【 目的 】 近年、野草地でのヤギ放牧は一般的になりつつある。しかし、その際の選択採食する野草の種組成、摂取量、化学成分組成および消化率については十分な情報がない。より適切な放牧管理を行うためには摂取飼料の情報が必要不可欠である。そのため、野草地における放牧ヤギの摂取飼料成分を明らかにすることを目的とした調査および研究を公募する。

【 具体的内容 】 野草地において、コドラート（方形枠）等を活用し、山羊の摂取野草種の特定と化学的組成、摂取量を明らかにする。